

あおうみネット



淡海の市民活動・ネットワーク情報誌
Collaboration Paper for Voluntary Network in Ohmi

●発行日/2009年2月1日 ●発行所/(財)淡海文化振興財団

No.
67
2・3月号



CONTENTS

特集●淡海とぴっくす ②

フォーラム報告

『買い物も市民活動？ 私の“選び”が 社会を変える!』



北国街道木之本塾 町家再生考

日時●2月11日(水・祝)
場所●きのもと交遊館
入場料●無料
連絡先●湖北古民家再生ネットワーク
TEL:0749-68-0304

専門家による湖北の民家の解説、10月～12月にかけておこなった町家修繕体験「町家再生塾」の報告・見学会をおこない、空き民家の今後の活用法について、地域のみなさんと都会の人を交えて考えたいと思います。



まほまほフリーマde あすと浜大津

日時●2月22日(日)・3月22日(日)10:00～16:00
場所●明日都浜大津2F ガス燈広場
入場料●無料
連絡先●大津市社会福祉協議会内
「まほまほフリーマあすと浜大津」
TEL:077-525-9316

小さくなった新品同様の洋服や靴、遊ばなくなった玩具など、捨ててしまうのは勿体ないですよ!子どもの成長は早いからこそ、上手にリ・ユースしたいものです。そんな「もったいない」を解消していただける、買う人にも売る人にも優しいキッズなフリーマです。出店者同士の物々交換や色んな情報交換の場にもなっています。楽しい子育ての輪を広げませんか!



あおうみ市民事業創出支援プロジェクト 第4回協働サロン・NPO×NPO “はじめの一步” 開催について

- ◆テーマ: 社会的意義を見つける働き方～リサイクルショップ運営の事例を通して～
- ◆目的: 女性が互いに助け合うことのできる地域の活性化・ライフスタイルを提案し、協働を目指します。
- ◆日時: 2月19日(木) 13:30～16:35
- ◆参加費: 500円(お一人様)
- ◆会場: 県民交流センター(ピアザ淡海) 3階 和室
- ◆内容: 特定非営利活動法人WE21ジャパンの郡司真弓さんをお迎えし、NPO同士が協働事業を展開できる組織作りに関して考えます。また、交流会では活動アピールの時間を設けておりますので、チラシ・名刺などお持ち下さい。
- ◆対象: 他のNPO・市民活動団体と協働してみたいと思う方なら、どなたでも参加できます。
- ◆申し込み方法: ホームページからEメールで申し込みもしくはチラシ裏面の申込用紙のFAXにてのお申し込みに限らせて頂きます。

あおうみ未来塾成果発表会

「あおうみ未来塾」は、市民活動が地域の活性を促し、地域運営の一翼を担うようになった今、広いネットワークと創造力で課題解決に取り組む「地域プロデューサー」が育つ場を目指しています。今回、9期生が地域課題に取り組んだ塾活動を報告します。また10期生がこれまで学んだことをまとめ、2年目の活動計画について発表します。市民活動を始めるヒントを見つけていただける機会にさせていただけると思います。ご参加お待ちしております。

◆日時: 3月7日(土) 13:30～
◆場所: 県民交流センター(ピアザ淡海) 3階 大会議室

◆参加費: 無料
※当日の詳細は、当センターへお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

第6回(2008年)「あおうみNPO活動基金」 助成団体成果発表会のご案内

NPOの経営基盤強化を目的に実施している「あおうみNPO活動基金」助成を受けている20団体が、助成事業の成果を発表します。みなさんの活動の参考になるとと思いますので、ぜひお越しください。

◆日時: 2月14日(土) 10:00～16:50
◆会場: 県民交流センター(ピアザ淡海) 207会議室
※入場無料。詳しい内容等は、ホームページをご覧ください。

「あおうみNPO活動基金」へご寄付をいただきました。

11月21日、しがぎんリース・キャピタル株式会社様から「あおうみNPO活動基金」に115,250円のご寄付をいただきました。地域で展開されている環境保全活動に一層の支援をしたいと、創立20周年を迎えられた2004年以降、毎年、収益金等の一部を当基金へご寄付頂いています。「厳しい時期だからこそ支援したい」と今回4回目の寄付をいただきました。いただいたご寄付は、当財団の「あおうみNPO活動基金」の原資に加え、県内NPOが取り組む自然環境の保全をはじめとする社

会貢献活動への助成に活用させていただきます。

◆「あおうみNPO活動基金」とは
NPOの自主的な活動を支援するために2002年度に設置したもので、県や企業、個人のみなさまからの資金提供により運営しています。

この基金を活用して、これまでに54団体(延べ90団体)に1億173万円の助成を行っており、多くのNPOの基盤強化に役立っています。ご支援いただけるみなさまからのご寄付をお待ちしています。

ふらっとルーム開館時間変更について

ふらっとルームの開館時間を変更しております。水曜日の開館時間のみ変更ですので、ご利用の場合は、ご注意ください。

◆変更前 毎週水曜日 9:00～21:00

▼

◆変更後 第2・第4水曜日 9:00～21:00

ふらっとルームは、市民活動団体やNPOのミーティングや交流スペースとしてご利用いただけます。当センターまでお気軽におたずねください。

立命館大学ボランティアセンター・滋賀県社会福祉協議会事業紹介 地域を創るボランティアネットワークに関するシンポジウム

地域と大学(学生)との連携を視野に入れたボランティア・市民活動のネットワークについて、コーディネートの現場から話し合います。

◆日時: 2月25日(水) 13:00～16:30 ◆場所: 立命館大学びわこ・くさつキャンパスエポックホール
◆参加費: 無料 ◆申込締切: 2月13日(金)
◆申込・問い合わせ先: 立命館大学ボランティアセンターBKC
TEL:077-561-5910 FAX:077-561-5912

淡海ネットワークセンター

(財)淡海文化振興財団

淡海ネットワークセンターは、県内の市民活動、NPOをサポート・ネットワークしています。

■〒520-0801 大津市におの浜1-1-20 ピアザ淡海2階
■TEL 077-524-8440 ■FAX 077-524-8442
■http://www.ohmi-net.com
■E-mail:office@ohmi-net.com

開館時間/9:00～17:00 第2・第4水曜日(祝日以外)9:00～21:00 休館日/月曜日、祝日の翌日

●淡海ネットワークセンターの情報誌「あおうみネット」は次のところに配布しています。県内図書館、琵琶湖博物館、男女共同参画センター、文化産業交流会館、陶芸の森、草津まちづくりセンター、県社協ボランティアセンター、大津市生涯学習センター、栗東芸術文化会館さくら、滋賀銀行、びわこ銀行、滋賀県信用組合、公民館、各地域振興局、県情報室など

編集後記

- 12月2日のサポーターサロンで急抛担当が幸運にも当たり、6日の取材となりました。素敵な佐藤代表とさしでお話でき、やまとなでしこと久しぶりに巡り会いサポーター異利につきるひと時でした。(あおうみネットサポーター 岡崎一郎)
- 「手を挙げてよかった」。今の率直な感想です。自分の世界がまたひとつ広がったのを、感じとりました。いつか、自分の夢とコラボできる日がくるのでは…そんな勇気をもらいました。(あおうみネットサポーター 荒木威)
- 今回の取材はあまり時間がなく、現場を見ることができなかったのが残念です。足湯の出前、頼んでみたいですね。(あおうみネットサポーター 平井育恵)

■NPOさぽーとぽけっと ①

地域の居場所
コミュニティ・サロンの運営
～ボランティアやスタッフを集めよう～

■市民団体活動紹介 ⑤

NPOのわっ

- しなやかシニアの会
- 特定非営利活動法人湖南ネットしが
- 特定非営利活動法人
あおうみ木質バイオマス利用研究会

■あおうみネット★

INFORMATION ⑦
2月・3月

フォーラム報告 買い物も市民活動？ 私の「選び」が社会を変える！

買い物をとおして地域づくりや市民活動に参加することができます。そのためには何を選び、どんな買い物をしていけばいいのでしょうか。そのヒントが見つかるフォーラムを11月29日（土）に開催しました。さらに、会場では地産地消を進める市民団体、福祉の職場を生み出す団体などが出展し、参加者と賑やかに交流されました。



奥谷京子さん●プロフィール
女性起業家を支援するWWB（ウイメンズ・ワールド・バンキング）ジャパン代表。起業スクールのほか、農業や地域を元気にする人向けの講演やセミナーの講師をしている。慶應義塾大学総合政策学部卒。女性起業家を支援するWWBジャパンに入社。2005年7月より代表に就任、各地の起業家を訪れ、起業家同士のよいところを結びつけて、新しいビジネスを生み出している。産業能率大学、松山大学で講師を兼任。東京・恵比寿にある直営のカフェで自ら実践しながら起業についてのアドバイスを全国各地で行っている。著書に「ひろう・もらう・つくる お金をかけない起業法」（アドア出版）がある。
<http://www.p-alt.co.jp/wwb>

今までは「消費者が王様」という考え方でしたが、これからは、「生産者が王様」にならなければならぬ。額に汗してちゃんと作っている人がちゃんと報酬をもらうような仕組みにしなければ農業をやる人はいなくなってしまう。そのことを全国に発信していきたいという思いで、国内での生産者の応援をさせていただいています。

（次ページへ）



◇日時：2008年11月29日（土）14：00～17：30
◇場所：生活協同組合コープしがコープぜぜ2階生活文化ホール

基調講演

「私の『選び』が社会を変える」

奥谷 京子さん
（WWBジャパン代表）

今、社会起業家やコミュニティビジネスを起こしている人たちが全国に多数いますが、その多くは女性です。私が代表を務めるWWB（ウイメンズ・ワールド・バンキング）という団体も、起業する女性の経済的な自立を支援していますが、その方たちの目線はすべて生活密着型です。例えば、お子さんが障害をお持ちで、保育園などに簡単に預けられないことから子育て支援を展開したり、寝たきりのお年寄りの所にボランティアでお弁当を運びに行ったり、いいウエ配食サービスを始めたり、いいウエディングドレスに出会えなかった経験から、セミオーダーで作るドレス

を提供することで花嫁さんを最高にきれいに見せようと会社を立ち上げた女性もいます。自分の身近な問題からビジネスにしていこうという方たちが、全国に大勢いらっしゃると思います。本当に温かいものを提供されているので、そういう人たちのものを全部注文していくと、本当に豊かな選択肢があると、私は喜んでいきます。皆さんの周りにもたくさんいるはずですよ。そういう方たちを探すことも大事なんです。

最近私が問題意識を持っていることの中に、地域活性化事業があります。その中で農村の起業も支援しています。一つ驚いたことは、農家

の方は自分で価格をつけたことがない人が多いという事実です。実際にリンゴが一つ百五十円で売られていたとしても、農家に入ってくるのは十円、二十円です。価格を決めているのは流通をしている人たちで、生産者が幸せなのが見えていませんでした。そこで、生産者に自分たちで価格をつけてもらうトレーニングをしていざと、生き甲斐をもって生産し、意識が変わっていくことが、実践から分かってきました。

「老舗旅館「吉田屋」の事例」

島根県大田市温泉津で創業95年の老舗旅館「吉田屋」を若い女性たちが引継ぎ、地域の問題解決拠点として全国のモデルとなるビジネスを創出している話。
<http://www.lets.gr.jp/yoshidaya/>

2009年もうよいよ幕開けです。「Change！」をキャッチフレーズに、バラク・オバマ氏は、第44代アメリカ大統領に選ばれました。1961年生まれのオバマ氏の若い知性と感性に、「change（変革）」のバトンは渡されました。2009年、日本もまさに「change（変革）」の時を迎えようとしています。

●CHANGE

～改革（～を変える）から変革（～が変わる）へ
公益法人（財団、社団）は民間非営利組織（NPO）ではないという考え方をする方もおられるかもしれませんが、本来、公益法人（財団、社団）は、独立性、自主性を担保した民間非営利組織（NPO）です。しかし、公益法人たる存在意義の形骸化が社会課題となっている中、社会変革の火種となる法改正が昨年12月に行われました。「公益法人制度改革3法」により、現存している公益法人（財団、社団）は、2008年12月1日の法律施行日から5年以内に新制度に移行することとされ、移

行申請をしない場合は、解散となります。今回の公益法人制度は、明治29年の民法制定以来110年ぶりの抜本的な改革です。財団・社団は、このような動きの中で、より一層、独立性、民間性、公開性を担保した民間非営利組織となっていく必要があります。また、従来の地縁組織も昔からあった民間非営利組織として捉える動きもあり、次の10年では大きな文脈で民間非営利組織が語られ、まさに市民社会の広がりが見られるようになっていきます。

私たちが大きな視野で社会を考え、新しい思考・行動様式へと移行していく必要があります。大いに悩みながらもみんなで考え行動していく。その先には日本の変革が見える。そんな思いの束を集めながら、今年一年も活動していきたいと存じます。

本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

淡海ネットワークセンター事務局長 浅野 令子

CHANGE 変える 変わる

NPO SUPPORT POCKET

あなたのNPO活動をサポートする情報をお届けします。

●NPOさぽーとぽけっと●

地域の居場所、コミュニティ・サロンの運営

～ボランティアやスタッフを集めよう～

地域の人と人をつなぎ、地域全体をいきいきとさせる、地域の居場所やコミュニティ・サロン。今回は、運営をともにしていくボランティアを募集するためのポイントをご紹介します。



●志や目標を共有できる人を集めたい

どんな目的で地域に居場所を作りたいのか、どんな人たちに利用してもらいたいのか、志や目標を共有できる仲間とともに運営していくことで、活動はさらに広がっていきます。まずは、「やりたい思い」に関心がありそうな人に話してみるから始めてみましょう。理想に近い居場所やサロンを見つけたら、一緒に出かけてみるのもいいですね。人に声をかけ、思いや意義を語ることで、理解し賛同する仲間ができます。仲間は、最低3人はほしいところです。「三人集まれば文殊の知恵」と言いますね。

●チラシを作って配布する

居場所やサロンを始めたい地域には、チラシを配って地域の人にも理解してもらいましょう。ボランティアやスタッフとして参加したい方も出会うきっかけになります。町内会や自治会などにも話し、そこからのお知らせに書いてもらうことで、信用度も上がり、地域に広く広報することが出来ます。

チラシ作りは、日頃からいろいろな団体のチラシを集め、分かりやす

いチラシや手にとってみたくなるチラシを参考に作ってみてください。チラシ作りについての講座へ参加すると、たくさんのヒントをもらえます。

●インターネットを利用する

地域の市民活動を支援している団体や社会福祉協議会などのボランティアセンターでは、ホームページやメールマガジンでボランティア募集のお知らせを掲載できるところもあります。インターネットはさまざまな人が見ているので、広く呼びかけるのに向いています。また、自前のホームページを作って募集することもできます。最近はブログを利用したものが多く見られます。簡単に更新でき、デザインなどに悩まず始めることができます。

滋賀県内の各地域にある市民活動支援団体については、当センターからもご案内できますので、お問い合わせください。

●ボランティアで活動してもらう前に

ボランティアで活動してもらう前には、居場所やサロンの目的、内容について、きちんと伝え、仕事の種類や内容、具体的な時間、負担について理解してもらうことが大切です。交通費や有償とするのかしないのかについても、始める前にお互いにしっかり確認しておきましょう。仕事内容などを確認する「ボランティア合意書」を交わすことも一つの方法です。

地域で求められる居場所やサロンとなり、運営を長く続けるためにも、そこで活動するスタッフ全員が目標を共有し、納得して活動できる場を作っていきましょう。

経済と環境をつなぐ地域通貨「すまいる」

特定非営利活動法人 エコロカル ヤス ドットコム

野洲地産地消協議会とエコロカル ヤス ドットコムが運営する地域通貨「すまいる」は、地産地消と地球温暖化防止の2つの取り組みを組み合わせる手段として活用されています。具体的には、市民が太陽光発電設置への寄付として「すまいる」を購入。市内の加盟店で商品代金の一部に「すまいる」を使います。加盟店は「すまいる」分（割引分）を太陽光発電設置に協力している形です。太陽光発電の売電で得た収益は加盟店に還元します。さらに、地産地消を活性化させる農水産物の直売店「すまいる市」が開設され、加盟農家も増えています。生産者と消費者、地域の高齢者などのコミュニケーションの場としても親しまれています。地域通貨によって地産地消



▲遠藤由隆さん

●エコロカル ヤス ドットコム 野洲市まちづくり政策室 主席主幹

地域通貨「すまいる」を介在させ、地産地消の推進による地域内経済の活性化と、太陽光発電装置の普及推進による地球温暖化防止など、「環境と経済の両立」を目指した「すまいる市」を展開している。



◀地域通貨「すまいる」

特定非営利活動法人エコロカル ヤス ドットコム

TEL : 077-588-3887 (谷豊)
FAX : 077-588-3889

未来の価値をみんなで作る

株式会社フェリシモ

エコ商品を提案しているカタログ「ecolor (エコラ)」で3つの企画を展開しています。1つ目は障害者施設との協働企画。NPO法人や自治体、全国の授産施設と協働で手仕事のぬくもりを提供するという商品企画です。2つ目は発展途上国の自立支援型企画「フェリシモ・アクティビティーズ」。買物を通してグローバル経済の流れから取り残された地域の人たちの自立を支援するもので、一部、基金付き商品も展開しています。3つ目はエコ生活の提案で、お客様一人ひとりの家庭の中の環境問題を解決する生活スタイルを提案する商品開発を行っています。一人の力が小さくてもみんなの力が集まれば大きなことができることを見える形で提示して、社会貢献を実感できる工夫をしています。



▲能勢加奈子さん

●株式会社フェリシモ ecolorグループ グループリーダー

カタログ販売フェリシモは、商品購入によって地球環境保全に消費者が参加できる商品、海外ボランティアができる商品などを提供し、身近なところからエコライフや途上国との関係について消費者へ情報を提供している。



◀子育て中の女性の声から生まれた漂白なしのブラウンティッシュと何度も使えるガーゼティッシュ

株式会社フェリシモ

TEL : 078-325-5700 (平日10:00~12:00、13:00~17:00)
FAX : 078-325-5725
URL : <http://www.felissimo.co.jp/ecolor/>

パネルディスカッション
「買い物で地域を変える」



▲パネルディスカッションの様子

パネリスト／奥谷京子さん (WWBジャパン代表)

能勢加奈子さん (株式会社フェリシモecolorグループリーダー)

塚村好朗さん (ディオス北千里専門店会会長)

遠藤由隆さん (野洲市まちづくり政策室主席主幹)

コーディネーター／浅野令子 (淡海ネットワークセンター事務局長)

フォーラム後半のパネルディスカッションでは、「買い物で地域を変える」をテーマに意見交換が行われました。コーディネーターの浅野の「素朴な疑問」を受け付ける呼びかけに、会場からは「環境に配慮した商品や途上国で作られた商品の品質管理をどうしているか」という質問がありました。これに対してWWBジャパンの奥谷さんは、インドで手がけている刺繍では、現地のシスターが指導に当たっている例を挙げながら、現地で品質管理ができるコーディネーターを育てることの大切さについて話されました。またフェリシモの能勢さんは、障害者施設での作業では、細かな分業制にすることで均一な作業ができ、ばらつきのない商品ができることを説明されました。

行政やNPO、事業者など違った立場の人たちと協力関係づくりについての質問では、野洲市まちづくり政策室の遠藤さんは「地産地消推進協議会は市場コミュニティのような形になっている。環境と経済を組み合わせ、誰もが環境社会に参加できるモデル」と話されました。一方、地域交流研究会について塚村さんは「若い人が提起する問題に、経験豊かな高齢者の知恵を拝借して、ともに解決していくという形で進めることが大切」と話されました。

コープしがから、生協とNPOが繋がる方法について質問がありました。これに対して遠藤さんからは、小規模分散型のまちづくりを目指すエコロカル ヤス ドットコムの活動の中で、地域の高齢者に対するデリバリーサービスなどが協働で出来ないかという提案がありました。県外の視点から、塚村さんはイオングループが行っている事例を挙げ、消費者の買い物額の何%かを事業者がNPOに寄付するシステムの導入について提案をされました。

さらに、消費者とのコミュニケーションの取り方について、フェリシモの能勢さんは子育て中の30代女性の例をあげ、社会から隔離されがちな主婦の社会参加の方法としての商品へのアンケート企画について紹介。そして最後に、奥谷さんからは、地域を越えて、人や物を上手く結びつけることで新しい商品やサービスを生み出す面白さと可能性が語られました。地域の様々な活動をつなぐコーディネーターの役割の重要性について認識を新たにしました。

田舎と都会、生産者と消費者をつなぐ、様々な商品が各地で提供されています。買物を通して地域を応援するだけでなく、自分の世界も広げることができることを知りました。

WWBの姉妹団体に日本で一番初めにフェアトレードを始めた「第三世界ショップ」(一九八五年設立)があります。途上国の仕事づくりというところで、フィリピンでは捨てられていたコゴソ草。その繊維が長いという特徴をいかし、現地の人が紙漉しの技術を日本で教わり、押し花をつけてカードにしたり、小さな箱を作ったりという事業を、フィリピンのミンダナオ島のある地区で実践しています。始めた時には七人だったグループが、現在四百人以上になり島の産業になっています。こうした

仕事づくりによって、国内でも吉田屋旅館のように、若い人たちが戻ってくる可能性につながる地域はたくさんあります。つまり、国内外の必要としているところに仕事を作っています。

いくことが必要なのです。私たちのコンセプトは、より大きな概念で「コミュニティトレード」という言い方を提唱しています。途上国の商品だけでなく国内の商品も増えてきています。

今、知恵を出し合っているような商品開発をしています。このような活動を通して、ものを提供することでその意味を伝えていきます。そして、発信することでお客さんにも知ってもらうことが大事だと思っています。クラッカーバーを食べた方たちがスリランカに行ってみたくらいだったり、あるいはWWBのカフェで出している野菜の生産者さんの収穫祭に行ってみたくらいと思うことが、社会のことも見直すきっかけになり、実際に社会を変えていくことになるんだと思っています。

出展団体

参加者と賑やかに交流されました

里山パン工房

<http://www.eonet.ne.jp/ossaka/>
TEL : 0740-28-8128



地元の主婦たちが、地元マキノ町産の米を自家製粉しパンを生産。道の駅マキノ追分峠で販売し、地元の米を使うことで農家もうれしい、消費者も安心のパンを作っている。

知的障害者授産施設(通所)れもん会社

<http://www.shonanhouse.com/>
TEL : 077-537-0046



障害のある人が地域で自立していくためにはお金と経験が必要。そのため「仕事」と「生活体験」の場を提供している。

北比良グループ

<http://www16.ocn.ne.jp/kitahira/>
TEL : 077-596-1679

地元の生産者が昭和42年から比良山系の麓でとれたお米と大豆を使った無添加米味噌・比良の里>を中心に、さつま芋チップなど美味しい物を作っている。



ボルネオ保全トラスト

<http://www.bct.jp>
TEL : 03-3471-4966

ヤシノミ洗剤を生産する(株)サラヤが、その原料であるパーム油の最大の産地であるボルネオ熱帯雨林の生物を守り、自然と人間が共存できる社会のために提案し、トラスト活動が始められた。



安曇川流域・森と家づくりの会

<http://www.mori-ie.com/>
TEL : 077-574-3225

設計技師、工務店、林業者が協力し、安曇川流域で育った良質な木を使い、住まい手とともに安心で安全な家づくりをしている。植林活動なども行い、家づくりを通じて豊かな森づくりを目指している。



採決しない円卓から生まれる地域の協働

地域交流研究会

地域交流研究会は、ディオス北千里専門店街の販促用「ゆめシール」を使って消費者と専門店が地域の市民活動に協力できる仕組みを作っています。誰でも参加できるこの研究会では、「まちづくり」をテーマに相談や提案を持ち寄り発表。その中から取り上げたいテーマを掘り下げ、賛同の多い活動に専門店が協力します。200円分の買い物でシール1枚がもらえる「ゆめシール」は、50枚分で200円分の金券として利用できますが、地域の活動へ寄付することも選べます。専門店会は、この寄付へ2,000円分の専門店街金券で活動に協力します。この仕組みで地元中学校にピオトープポンプと災害時非常用電源として太陽光発電が設置されました。研究会が団体と市民を結ぶコーディネートの場となっています。



▲塚村好朗さん

●地域交流研究会 ディオス北千里専門店会 会長

「まちづくり」をテーマに地域の住民、学校関係者、市職員など多様な人が気軽に集まれる地域交流研究会を開催。月1回開催を6年間継続し、学校で聴覚障害児の支援に結びついた事例、学校と商店街が協力して保護者へ安全情報を提供するシステムを構築した事例などがある。



◀地域交流研究会の様子

連絡先：ディオス北千里専門店会

TEL : 06-6872-0556
FAX : 06-6832-0668

「足湯の出前いたします」
 知って！感じて！木質バイオマスのよさ
 循環型社会をめざして…市民活動ですめる森の再生と利用

昨年のガソリン価格の高騰と年末にかけての急落は記憶に新しいところです。発端は投機マネーが招いたものでしたが、化石燃料に頼るこの社会の危うさを、誰もが認識させられた出来事でした。代替エネルギーについては様々な可能性が模索されていますが、今回紹介するのは「木質バイオマス利用」を前面に掲げて森林の利用と再生を図り、「地域での資源循環型社会の実現」をめざす「おうみ木質バイオマス利用研究会」です。

二〇〇〇年に湖東地域振興局が中心となり「循環モデル・湖東地域森林資源活用事業」として「森林発電プロジェクト」が始まりました。行政・市民・山林組合・企業など、様々なセクターの協働により推進してきたこのプロジェクトが母体となって二〇〇四年に法人設立されました。目的は事業化



●足湯でほっこり

（事業型NPO）ではなく、「みんなで手作り」「市民が主役の活動として」ということを大事にしています。現場作業を重視した地に足のついた活動、全員参加型のワークショップ形式の活動をベースに研究・開発・企画をしています。

定例活動は多賀町高取山ふれあい公園で第一土曜日と第三日曜日に開催し、白王里山再生プロジェクトは近江八幡市白王町で第四土曜日に開催しています。まだまだマンパワーが欲しいです。いちど参加してみませんか。目下の目玉は木質ペレットを燃料とする移動足湯。どこでも出前いただけます（費用負担要相談）ぜひ体験してみてください。

（おうみネットサポーター 平井育恵）



●白王里山再生プロジェクトのみなさん

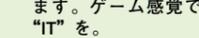
特定非営利活動法人
 おうみ木質バイオマス利用研究会
 代表●守本輝夫
 設立●2004年 会員●約50名
 連絡先●彦根市京町1丁目6-17
 TEL: 090-7757-3098 (寺尾)
 FAX: 0749-24-4455
 e-mail: info@ombk.info
 URL: http://ombk.info/

「IT」の活用をコンセプトに、シニアから子ども・女性・外国人・幼児教育の分野まで…更なる進(深)化を目指します！

「IT」は、使えるだけで終わってしまっている「ダメ！」。代表の斎藤さんは、熱い想いを語ってくれました。「IT」の知識や技術支援を通じて、目の前にあるさまざまな社会問題の解決にまで広げ、深めていくことについて、地域社会がいざいざと元気になることを目指しています。すなわち「IT」技術の活用あってこそ「IT」と力説されます。二年前、第一歩を踏み出しました。当時「財団法人ニューメディア開発協会」(経済産業省主管)による「シニア情報生活アドバイザー」の認定を受けた会員はほんの数名に過ぎませんでしたが、今日では二十六名に成長

しました。今後も、乗数的に拡大する勢いで活動は、当初の「シニアリーダーの養成」から子どもの健全育成活動、さらには、女性や外国人への支援活動へとウイングが広がりました。その成果として、湖南市在住のペルー国籍の男性が、外国人としては全国「認定試験」に合格。さらには、来年度の活動の目玉として、幼児教育プログラム(キッズスマー)の導入を計画しています。

活動は、当初の「シニアリーダーの養成」から子どもの健全育成活動、さらには、女性や外国人への支援活動へとウイングが広がりました。その成果として、湖南市在住のペルー国籍の男性が、外国人としては全国「認定試験」に合格。さらには、来年度の活動の目玉として、幼児教育プログラム(キッズスマー)の導入を計画しています。



●幼児教育プログラム(キッズスマー)の導入を計画しています。

「認定試験」に合格。さらには、来年度の活動の目玉として、幼児教育プログラム(キッズスマー)の導入を計画しています。

教育プログラム「幼稚園・保育園へのIT支援(キッズスマー)」計画が進められています。こうした短期間の躍進の秘訣については多くを語られなかったものの、活動の軌跡からたどり得た結論は、地域・行政・企業との「協働」の二文字に凝縮されるようです。まさに「協働」の生きた教科書を見る思いがしました。

一見、順風満帆のようにお見受けしましたが、さらに「坂の上の雲」を目指して夢は尽きません。それは、活動エリアの拡大(南部方面、北部方面)と、事業型NPOへの戦略展開を果たすことだそうです。新年こそは夢が実現するといえますね。どなたか、同じ夢を見たい方おられますか？

（おうみネットサポーター 荒木威）



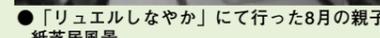
●学習風景です。シニアから子どもまで、真剣なまなざしに、年齢は関係ありません。

特定非営利活動法人湖南ネットしが
 代表●斎藤富士夫
 設立●2008年
 会員●26名
 連絡先●湖南市菩提寺330-548
 TEL: 090-8146-4433
 FAX: 0748-74-0275
 e-mail: office@konan-net.org
 URL: http://www.konan-net-shiga.jp/

ニューシニアのみなさまを
 あったかい笑顔が路地の町家で迎えます

寒い北風の中、のれんをくぐり、「リュエルしなやか」という名の町家にて、スタッフのおだやかなほほえみに迎えられました。しなやかシニアの会は、設立から七年が経った二〇〇八年四月に、この風格ある町家に引っ越しされました。さらに、今年は大津市の新パワースタッフ・夢実現事業に「町家を活かして、シニアが仕掛ける世代を超えた交流の場」で採択されました。二〇〇〇年、偶然に出会った四人からスタートした活動は、おうみネットや町家を考える会など、多くの方々のご縁により、今日の九十名

の会員まで広がってきました。スタート時からの中心メンバー八名(全員女性)が世話役となり、いろんな企画を実施しています。継続、発展してきた鍵は、この世話役の方々の力をうまく引き出し、活用されたことであり、佐藤代表のひかえめで、上品な



●「リュエルしなやか」にて行った8月の親子紙芝居風景

お人柄がチームワークのよさを作っていると感じました。今年の事業で、好評だったのは、山元春挙別邸で九月に行った邦楽(尺八と琴)でした。事業のこれからは、二月・ワインを楽しむ会(講師・ホテル・ソムリエ)、三月・歌声喫茶の楽しさを再び(びわ湖大津館、地元音楽家出演)などの計画を暖めています。年会費五百円、出入り自由などの「しなやか」と「楽しいシニアライフ」という基本コンセプトを土台として、浜大津という地の利を活かして、固い絆でむすばれた女性パワーで、ニューシニアのための楽しい活動がこれからも大いに期待されます。

（おうみネットサポーター 岡崎一郎）

しなやかシニアの会
 代表●佐藤明子
 設立●2000年
 会員●約90名
 連絡先●大津市中央1丁目8-27
 TEL: 077-558-7233
 FAX: 077-558-7233
 e-mail: shinayaka077@nifty.com
 URL: http://www.shinayakashinia.com/



●風格ある町家に雰囲気合う「リュエルしなやか」の看板

NPOのわっ WA

輪

話

和

地域や社会を良くしていきたいとがんばっている市民活動・NPOを紹介します。興味を持たれた団体に連絡してみませんか？

おうみネットを一緒に作りませんか？

おうみネットサポーターを随時募集しています。興味のある方はセンターまでお問い合わせください。

このコーナーは「おうみネット」発行をサポートする「おうみネットサポーター」が市民活動団体・NPOの情報提供から取材・執筆までを行っています。



話

●しなやかシニアの会6月の水無月茶会の様子



輪

●湖南ネットしがの学習会では、外国人の子どもさんの姿もみられます。まさに、国際交流の現場がここにあります。



和

●おうみ木質バイオマス利用研究会では多賀町富之尾で森林整備(間伐)作業もしています。